

## ESCAP Committee on Transport, Sixth session

### オンライン出席報告

日本 GIF 佐藤 美紀

開催日時：2020年11月13日、14日

開催場所：タイ・バンコク United Nations Conference Centre（オンラインで配信）

視聴した会議：

13日

- Agenda Item 1: Opening of the session
- Agenda Item 2: Review of the Implementation of the Regional Action Programme for Sustainable Transport Connectivity in Asia and the Pacific, phase1(2017-2021)

14日

- Agenda Item 3: Cross-cutting issues in transport

#### 【会議視聴の目的】

ESCAP(国際連合アジア太平洋経済社会委員会)の Committee on Transport に日本 GIF は第1回の2008年、第3回の2012年、第5回の2018年に出席した。本年はコロナウイルスによりオンライン開催となったため、当財団の業務に関連が深いと考えられる会議を視聴した。

#### 【会議の概要】

Committee on Transport は ESCAP の本部があるタイのバンコクにて 2008 年より行われており、今回が第 6 回目にあたる。本年は新型コロナウイルスの流行による各国の出入国規制に対応し、バンコクの会場と関係者をオンラインでつなぎ、それを You Tube にて配信した。ESCAP の資料は事前にウェブサイトに掲載されており、視聴した会議は各国代表者のコメントが主であった。

<https://www.unescap.org/intergovernmental-meetings/committee-transport-sixth-session>

#### 11月13日

##### Opening Session

2030年の目標達成のために、持続可能な交通が非常に重要である。

COVID-19により、アジア太平洋地域の交通ネットワークの取り組みも変わってきた。

##### Review of the implementation of the Regional Action Programme for Sustainable Transport Connectivity in Asia and the Pacific, phase I (2017–2021) \*発表順

<中国>

これまでも交通網の整備に取り組んできたが、今後はさらに経済的で持続性のある、そし

て環境に配慮した質の高い交通網や設備の充実に取り組んでいく。

<オーストラリア>

交通網建設の際は、リサイクル資材の利用をしている。今後もさらにリサイクルを進めていきたい。

<インド>

デジタルネットワークを交通に利用出来ると考えている。近隣諸国との連携を強め、交通網の整備に力を注いでいく。近隣諸国とはバスの運行も行っており、そちらも強化していきたい。

<フィリピン>

移動手段はバイクが主流である。フィリピンは7000の島々で構成されており、現在はメインランドと近くの島を結ぶ橋があるが、今後はそれらの島々を繋ぐ交通網の発達が重要である。

<タイ>

昨年交通会議を開催した。引き続き ESCAP には支援をお願いしたい。

<ロシア>

ムルマンスクから北極海航路を使い、コンテナや石油貨物により LNG を運んでいる。3mの厚さの氷も切る事が出来る原子力砕氷船を使うと、季節を問わず輸送が可能になる。

<アゼルバイジャン>

2017年にトルコとジョージアを結ぶ鉄道が開通した。今後も更なる鉄道網の充実に力を注いでいきたい。

<ウズベキスタン>

中央アジアはヨーロッパとアジアの中間にあり、一带一路の鉄道網において非常に重要な位置にある。

その後 ESCAP より、地域交通インフラの持続性への取り組みやデータベース、書籍や報告書の出版について、持続可能な都市交通への取り組みについての報告が行われた。

COVID-19 の輸送への影響については、道路や鉄道における輸送はわずかな減少にとどまったが、空輸については大幅に減少、海運についてもわずかもしくは大幅に減少との報告があった。

**11月14日**

**Cross-cutting issues in transport**

**Safe and Inclusive Transport and mobility**

<バングラデシュ>

ダッカでは2016年から2035年までの計画で鉄道網の整備が行われている。2022年には、メトロレイルなど色々な鉄道路線が開通する予定である。

<中国>

この15年間、中国政府は”Passenger Safety”政策を進めてきたが、今後も ESCAP の支援をお願いしたい。

<カンボジア>

ESCAP をはじめ世界銀行やアジア開発銀行など多くの国際機関の支援によりだいぶ改善されたが、カンボジアは未だに交通事故が多く、引き続きの支援を求める。先月は洪水により道路が水没した。引き続き支援を受けながら、道路状況を改善していきたい。

<オーストラリア>

オーストラリアでは鉄道が主要な交通手段となり、利用者が年々増えてきている。利用者の年齢層も高くなっており、バリアフリーなどの対応も急務である。

オーストラリアでは鉄道事故も増えており、ESCAP としても道路の充実だけでなく、鉄道網の安全確保やスマート交通網との接続などの支援をお願いしたい。

以上